

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 自転車のまち宇都宮の推進
-----	----------------

施策主管課	道路建設課	総合計画記載頁	155ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

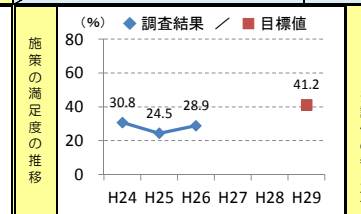
政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	22 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	政策の達成目標 (基本施策目標)	総合的な交通体系の構築により、公共交通や自動車、自転車などのあらゆる交通手段が相互に連携した、円滑で利便性が高く、安全で、ひとや環境にもやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------------	---------------------	--

2 施策の取組状況

施策目標	自転車が安全で快適に、楽しく利用できる環境が整備されています。
------	---------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)								H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	
	指標1 自転車走行空間の整備延長(km) ※市道のみ(自転車専用通行帯以外も含む)	単年度目標値		16.9	18.2	19.5	25.4	28.2	30.9	A						
現状値		14.5km	実績値	16.9	16.9	17.6										
目標値(H29)		30.9km	単年度の達成度	100.0%	92.9%	90.3%										
② 市民意識調査結果 指標2	指標名(単位)		H24(現状値)		H25	H26	H27	H28	H29	評価						
	施策の満足度(%)		調査結果		30.8	24.5	28.9					B				
	目標値(H29)	41.2%	前年度からの増減			-6.3%	4.4%									
③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)												B				
④ 参考 中核市等との水準比較	指標名(単位)								H24	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	自転車走行空間の整備延長(m) ※国・県・市道(自転車専用通行帯のみ)								中核市平均	12,689.3	12,650.1	13,078.4				
									実績値	6,640.0	8,460.0	11,580.0				
									中核市での本市の順位	16位/41市中	12位/41市中	12位/42市中				
									中核市平均							
									実績値							

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について	
★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況	
---------------------	--

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車は日常生活における移動手段だけではなく、レジャー・スポーツや健康増進等のツールとして、幅広い年齢層や用途に活用されている。</li> <li>国において、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の策定や道路交通法の一部が改正されるなど、自転車の安全利用に対する意識が高まっていることから、より安全性の高い自転車走行空間の整備を推進していく必要がある。</li> <li>他都市においても、「自転車のまち」を掲げ、各種施策を積極的に推進する自治体が増えてきていることから、本市においても、より特色ある施策を展開していく必要がある。</li> </ul>	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通管理者と協議調整を行いながら、道路状況に応じて車道と歩道の幅員の見直しを行うなど、様々な整備手法を用いることにより、安全・快適に通行できる自転車走行空間の整備を進めてきたことから、整備路線において自転車事故が減少し、安全性の向上が図られている。</li> </ul>	市民満足度	「自転車のまち推進計画」に基づき、安全で快適に走行できるよう自転車走行空間の整備、宮サイクルステーションを活用したサイクリススポーツの振興などハード・ソフト施策を一体的に取り組んできたことにより、「自転車のまち宇都宮」の関心が高まり、市民満足度が向上したものと考えられる。
		総合評価	概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	自転車のまちづくりの推進	○★	自転車走行空間の整備 サイクルアンドライド用駐輪場の整備 休憩スポットの設置 レンタサイクルの充実 サイクルステーションの充実 サイクリングロードの整備	自転車利用者	「自転車のまち推進計画」に基づく施策事業の推進(自転車走行空間やサイクリングロードの整備、宮サイクルステーションの運営、自転車の駅の設置、自転車マップの作成等)	計画どおり	345,884	H15	独自性	「自転車のまち推進計画」に位置付けた自転車走行空間の整備やサイクリングロードの整備、宮サイクルステーションの充実などの様々な施策事業について、関係機関や民間企業などと連携・協力しながら、効果的な事業展開を図る。また、「自転車のまち宇都宮」のさらなる推進を図るため、市民の安全意識や健康意識の高まりなど、多様化するニーズや国のガイドライン等の自転車を取り巻く環境変化を捉え、本市が目指すネットワーク型コンパクトシティの形成を踏まえるとともに、宇都宮ブリッツェン等と連携を図りながら、「自転車のまち推進計画後期計画(平成28年度～平成32年度)」を策定する。
2	交通安全教育	○★	交通安全教育の推進	市民	子どもから高齢者まで世代に応じた交通安全教室の開催	計画どおり	5,487	S49		自転車の交通ルール遵守とマナー向上が図られるよう、地域・学校・警察等と連携した街頭指導などの取組を拡充するとともに、平成27年6月より施行される違反を繰り返す自転車運転者に安全講習が義務化といった改正点も含めた自転車の安全利用について、教室やイベントを通して周知していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自転車のまちづくりの推進については、自転車走行空間の整備によって自転車事故の軽減が図られているものの、交差点部における事故の発生が多いことから、交差点部においても安全性の高い走行空間の整備を推進していく必要がある。</li> <li>また、宮サイクルステーションにおける利用者サービスの充実、自転車の駅の増設など、自転車利用の拡大に取り組んできたところであり、さらなる自転車の利用促進に向けて、駐輪場の拡充による公共交通との連携強化や自転車を活用した観光振興などに取り組んでいく必要がある。</li> <li>◆自転車の交通事故発生件数は減少傾向にあるが、交通事故全体に占める自転車事故の割合は21.4%と県の16%と比べ高い傾向にあるため、今年6月に施行される改正道路交通法に併せて、自転車の交通ルールの周知を徹底する必要がある。</li> <li>◆近年、自転車利用者が加害者になる事故により多額の損害賠償を請求されるケースがあるため、自転車任意保険の加入促進について取り組む必要がある。</li> </ul>	<p><b>方向性</b></p> <p>〈施策全般〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆安全で快適に楽しく自転車を利用できる「自転車のまち宇都宮」の実現が図られるよう、引き続き、関係機関と連携しながら、自転車走行空間の整備と自転車走行ルール・マナーの遵守に向けた取り組みを一体的に実施していくとともに、宮サイクルステーションの充実や自転車の駅の設置などにも取り組んでいく。また、現行計画が本年度で期間終了となることから、新たな施策等を位置づけた「自転車のまち推進計画後期計画」を策定する。</li> </ul> <p>〈主要事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自転車のまちづくりの推進 本市が目指すネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョンを踏まえた自転車ネットワーク路線の検討を行うとともに、国の動向などを考慮した安全性の高い自転車走行空間の整備に加え、サイクルスポーツを活用したさらなる観光振興・地域振興につながる施策等を位置づけた「自転車のまち推進計画後期計画(平成28年度～平成32年度)」を策定し、「自転車のまち宇都宮」のさらなる推進を図るため、様々な施策を実施する。</li> <li>◆交通安全教育 自転車の安全利用対策として学校や地域で自転車のルールの理解を深めるため「高齢者自転車免許教室」などの開催や警察等関係機関と連携強化を図りながら自転車の交通量の多い場所での街頭指導などに取り組んでいく。また、転倒の際の被害軽減のための自転車用ヘルメットの着用促進や自転車任意保険加入促進などについても機会を捉えて、周知啓発を強化していく。</li> </ul> <p>〈その他個別事業〉</p>